

資格の大原 宅建士講座 合格者インタビュー

宅地建物取引士 & 賃貸不動産経営管理士 W合格体験談



鈴木 勝貴

2018年完全合格週2コース入門パック 受講

2018年度 宅地建物取引士 合格

2018年度 賃貸不動産経営管理士 合格

静岡市内で不動産賃貸業を経営。賃貸業のため本来なら宅建士の資格は不要だが、同じ不動産業であるため宅建士の取得を決意。身長が190センチ以上あり教室でも非常に目立つ上に、座席は常に前から2列目をキープし真剣な眼差しで授業に集中。しかし、授業の前後や休憩中は誰にでも気さくに話しかけ、また受講生同士の飲み会には必ず参加するなど教室ではムードメーカー的な存在。

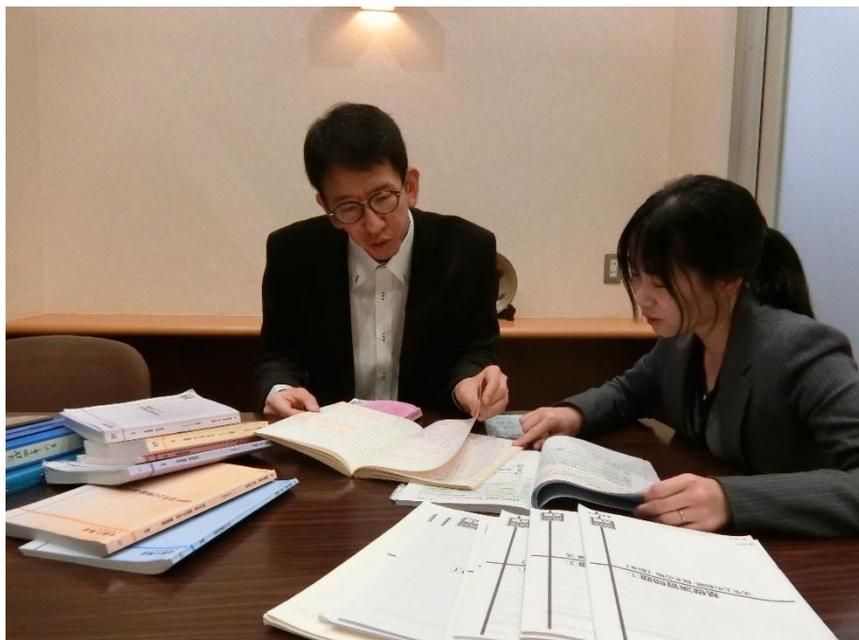
今回、宅建試験史上初となった合格基準点37点をらくらくクリアし宅建士試験に合格。その後、11月に実施された賃貸不動産経営管理士試験にも合格。みごとW合格を達成した鈴木にその受験について語ってもらった。

宅建士取得の動機

―宅建士を採ろうと思った動機となぜ大原に通学して勉強しようと思ったのかを教えてください。

「私は静岡市内で月極駐車場を経営しており、以前から同じ不動産業である不動産宅建業に興味を持っていました。そのため一昨年、宅建士の資格を取得しようと思い、書店で購入した過去問集を解き受験してみました。しかし、全く歯が立たず、この時、過去問の暗記だけでは無理。テキストを使って一から理解しようと思いました。」

「しかし、自宅では勉強に集中できないタイプだし追い込まないとはかどらない性格だからなあと考え、学校に通学し対面形式の授業を受けようとネットで検索。資格の大原の宅建士講座を見つけました。静岡商工会議所の申込により入学特典を使うことが出来るという事もあり受講を決めました。」



いよいよ授業開始

—久しぶりに受けた教室での授業はいかがでしたか？

「 授業初日の受講ガイダンスでは石田先生が主に3つのことを強調されていました。確かに、この3点を守ることは合格への確実かつ最短ルートでした。」

「 まずは、授業は欠席しないということ。確かに1回欠席すると、(欠席フォローの体制が整っているとは言え)かなりの労力を払わなければ次の授業に追いつくことができず大変苦労します。ちなみに振替出席制度があるため、静岡校で授業を受けることができない時は、沼津校で授業を受けるようにしました。」

「 次に、『一発合格シート』を継続して提出すること。このシートは主に自宅学習を記録しておくものですが、授業の際に提出すると先生のコメントが書かれて返却されるためとても励みになりました。大人になると何気ないことが嬉しいです！(笑)」

「 そして、『トレーニング問題集』を6回転以上やること。『勉強』イコール『トレーニング問題集(過去問集)を繰り返し解く』といっても過言ではありません。」

「 石田先生の授業は、ご自身のエピソードや語呂合わせを使ったムダがなくポイントを踏まえた解説が特徴です。重要な箇所に差し掛かると続出する静岡弁の『だもんで』というフレーズが印象的で、解答に迷ったとき授業の場面を頭に浮かべると不思議に記憶が呼び起こされました。」



受験勉強

— 大原では1月～3月までが入門期。4月から本格的なインプットの授業となりますよね。
そして、宅建士試験の主な出題分野は3つになりますが、それぞれどんな感じでしたか？

「宅建士試験の出題分野は3つに大別され、授業もこの流れで進んでいきました。」

■宅建業法 【授業は4月～5月】

「もっぱらこの分野の定例試験で満点を取ることが目標となります。また、最初に学習する分野のため本試験まで期間がありますが、この時期に集中してトレーニング問題集を繰り返し解いたので宅建業法を得意分野にすることができ、同時に勉強する習慣も身に付きました。」

■権利関係 【授業は5月～7月】

「モチベーションの維持が難しい時期でもあり、特に民法は理屈が多く理解するまでに時間がかかりました。授業でも『民法は深追いせず、学習の範囲は基礎知識に留めること』と先生が何回も念を押すほど学習しにくく独学では不可能でした。」

■法令上の制限・税その他 【授業は7月～8月上旬】

「暗記項目が多い分野で、いつも先生が教えてくださった語呂合わせが頼りでした。時には意味不明な覚え方もありましたが(笑)、記憶力が低下してきた身には心強い方法でした。」

■直前対策期と模擬試験 【授業は8月下旬～10月上旬】

「いよいよ本番モードに突入する時期で暗記に対する本気度も増しました。模擬試験と総まとめ問題を2回ずつこなしながら、復習だけでなく本試験で取りこぼしが無いように細かい条文や法律名など先生からいただいた資料を使い抜かりなく覚ええました。」



いよいよ本試験！そして合格発表！

— 例年本試験は10月の第3日曜日に実施され、合格発表は12月の初旬ですよ。
本試験と合格発表の時の様子を教えてください。

「 10月21日(日)に行われた本試験はかなり緊張しました。10ヶ月必死に勉強した結果がマークシート1枚に凝縮されると思うと鉛筆を持つ手が震え困りました。軽い気持ちで受けた一昨年の本試験の時、自分の斜め前で手を震わせながらマークしていた方の気持ちがよく分かりました。 」

「 試験会場を後にしても正答が気になり、駅のベンチでテキストを確認していました。その晩、解答速報で43点取れていると確認できましたが、マークミスが気になるなど心配は尽きず合格発表日まで悶々とした日々を過ごしました。そして12月5日の9時、ホームページに自分の受験番号を確認できたときは全身に鳥肌が立ちました。ホッとしました。 」



今注目の賃貸不動産経営管理士も取得！

— 鈴木さんはその後、賃貸不動産経営管理士にも挑戦し合格したとお聞きしましたが？

「 はい。宅建士試験に続き、すぐに石田先生の『賃貸不動産経営管理士合格対策セミナー』を受講しました。賃貸不動産経営管理士は民間の資格ではありますが、不動産業界最注目の資格と言ってよく、試験範囲が宅建士試験とかなり重なります。11月18日(日)の本試験までに6回ほどの授業でしたが、宅建士で学習した知識をそのまま活かすことができ、非常に効率よく1年間に2つの資格を手に入れることが出来ました。石田先生に出会え、本当に幸運でした。 」



今後、益々の鈴木さんのご活躍を祈念しております。本当におめでとうございます！



2018年12月8日(土) 資格の大原 静岡校・沼津校 合格祝賀会